



# 新座三中大より

学校教育目標

自ら学ぶ 心豊かに たくましく

新座市立第三中学校

令和4年5月2日

新座市池田1-1-1

TEL 048-479-4052

FAX 048-482-0133



## 奇跡の存在

校長 和久井 功雄

始業式・入学式から1ヶ月が過ぎようとしています。朝、正門で交わす生徒たちの元気な挨拶に今日一日も頑張ろうという気持ちになります。特に、1年生の大きな声の挨拶には前向きさが伝わってきます。たった一言の「おはようございます。」が、相手に元気を与える。素晴らしいことです。そして、ありがたいことです。

新年度が始まってからの子供の家庭での様子はどうだったでしょうか。「中学生になったんだから…」「上級生になったんだから…」「3年生で受験なんだから…」などと叱咤したことも多かったかもしれませんね。家庭ではだらしがないとか、疲れ切っているとか、そんな姿が目立ったかもしれません。大人でも環境が変わるこの時期は疲れます。でも、それは安心できる家庭だからこそその姿だと思います。家庭で力を抜いてエネルギーを充電して、そして、また次の日も元気よく学校へ行く（もちろん気の抜き方にも限度はありますが）。

振り返ってみると、どの子供にも、何をやっても許せる可愛い時期がありました（もちろん今も可愛いですが）。産まれたときの喜び、嬉しさ、感動、親としては忘れることができないものですよね。小学校2年生の時に「生い立ちを知る」という生活科の授業がありました。子供にとっては、記憶に無い幼児期にどんなにたくさんの愛情を受けて育ったのかを知る良い機会でした。そのときは子供たちも親に感謝したことでしょう。ところが、思春期になった最近、どうでしょうか。忘れてはいないけれど、薄れてきているかもしれません。そんな今、かけがえのない一人一人の子供たちに自分を大切にしたいということを伝えたいと思います。

<奇跡の自分>

男女が出会い夫婦になる確率は、男女5千人ずつとすると2千5百万分の1、人口はもっと多いので、夫婦になることが、いかに奇跡の出会いであるかがわかります。また、夫婦である2人が存在するには、父方、母方の

学歴が上がるにつれて、一人一人の良さも明確になっていきます。中学校という3年間は大人に向けて急速に成長し、特に精神的な負荷が大きい時期です。そんな時期だから、身近な大人である親や教師が寄り添い、かけがえのないOnly oneであることを伝えなければならいでしょう。子供たちのために、学校、保護者、地域が力を合わせて取り組んでいきたいと思います。今後どうぞよろしくお願いいいたします。

そうさ 僕らは  
世界に一つだけの花  
一人一人違う種を持つ  
その花を  
咲かせることだけに  
一生懸命になればいい  
小さい花や大きな花  
一つとして  
同じものはないから  
NO1にならなくてもいい  
みんな特別なOnly one

世界に一つだけの花

祖父母4人がいなければなりません。4人の祖父母が存在するには8人の人間が存在しなければならず、8人の曾祖父母が存在するには16人の人間が存在しなければならず、16人の高祖父母が存在するには32人というように倍々が増えていきます。そして、大昔の飢餓や戦争を乗り越え出会い、さらに、精子と卵子が出会う確率…など、いろいろな確率を計算すると、400兆分の1の確率だそうです（大まかにですが）。

伝えたいことは、自分という人間が存在することがどれだけ奇跡であり、生きているというだけでどれだけ価値があり、一人一人が特別であるということです。だから、自分と他人を比べる必要はない、あなたなりの良さがある。その自分の良さに中学校生活で気付いて欲しいと強く願います。他人と比較する必要もなく、自分はできないと卑下する必要もない。かけがえのないOnly oneになって欲しい。No1になることは良いことです。でもその際も、他人との比較ではなく、自分と向き合っていて欲しい。常に自分自身を向上させることを意識し、自己Bestを目指すことを大切にしたいということです。